

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-001

PDCA	事務事業名	文化財保護事業	部課等名	教育部 博物館	担当	秋山	
					内線等	23-7173	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 3. 文化の継承と創造					
		単位施策： (1) 文化財の保存・伝承					
	根拠法令等	文化財保護法、半田市文化財保護条例、半田市文化財保存事業費補助金交付要綱					
	対象・目的	文化財の保護伝承に努めることにより、市民の文化財に対する意識向上及び地域文化の振興を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化財専門委員会を開催し、市内文化財の調査及び保護について検討を進める。 広く市民を対象とした「文化財よもやま話」を始めとする啓発事業を開催する。 文化財修理や伝承の経費に対する補助金を交付し、文化財の保護を図る。 					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①文化財専門委員会の開催回数	5	6	6	回	
		②山車保存伝承費補助金の支給件数	31	31	31	件	
		③無形民俗文化財保存伝承費補助金の支給件数	6	6	7	件	
		事業費	4,923	4,643	5,840	千円	
		人件費	9,211	7,297	7,449	千円	
		総事業費	14,134	11,940	13,289	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①文化財専門委員報酬	96	33	28	千円		
	②山車保存伝承費補助金	126	126	126	千円		
	③無形民俗文化財保存伝承費補助金	90	90	90	千円		
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①文化財専門委員研究発表会（よもやま話）の1回あたりの参加者数	実績値	—	35	39	人
目標値			—	35	35		
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
事業の評価・課題	<p style="text-align: center;">A</p> <p>全国山・鉾・屋台保存連合会の「祭屋台等製作修理技術者研修会（以下「研修会）」を半田市で開催するにあたり、研修会亀崎大会実行委員会に参画したことで全国の祭礼保存会及び行政に半田の祭礼文化等のPRを行うことができた。また、「下半田祭礼行事」、「乙川祭礼行事」の無形民俗文化財指定を始め、文化財指定候補物件の調査及び審議を適切に行うとともに、「文化財よもやま話」や「文化財見学会」の開講、文化財の保存伝承への補助等、様々な保護事業を着実に推進した結果、文化財の保護が図られるとともに、市民が文化財に親しみ、理解を深める場を提供することができた。今後も文化財に親しむ機会を提供していく必要がある。</p>						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;">改善推進</p> <p>今後も市内の文化財指定候補の調査・検討を進めるとともに、保存伝承に要する経費への補助事業を継続的に実施していく。また、博物館を拠点とした文化財に関する展示や講座、情報発信を通じ、文化財保護の啓発を積極的に進めていく。</p>					
	令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①文化財専門委員研究発表会（よもやま話）の1回あたりの参加者数			40	人	